

(証券コード：6594)



夢をかたちにする経営

日本電産株式会社

代表取締役会長兼社長（CEO）
永守重信

2018年2月14日

■ 成長の軌跡

- HDD用モータなど精密小型モータに特化
- 積極的な海外展開で事業拠点を拡大
- M&Aを活用して駆動技術製品を強化

1973年
4名での創業



1988年
京証上場
大証2部上場

1998年
東証1部上場
大証1部昇格

2001年
ニューヨーク証券
取引所上場

NJ
LISTED
NYSE

ソニー、ホンダ、トヨタ等に続き、日本企業として15社目にニューヨーク上場

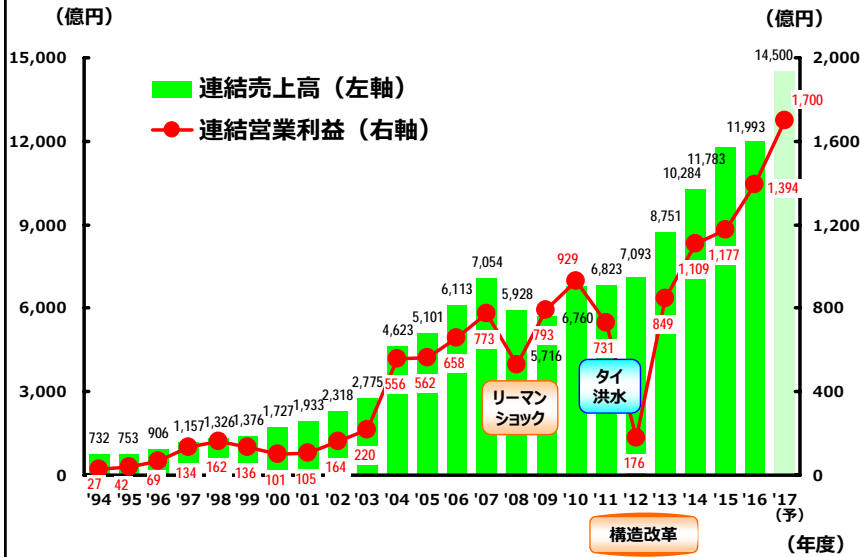
※2016年5月2日、当社はNYSEへの上場を廃止いたしました。

2018年
世界43カ国
グループ311社
従業員約11万人



本社・中央開発技術研究所

過去の業績推移

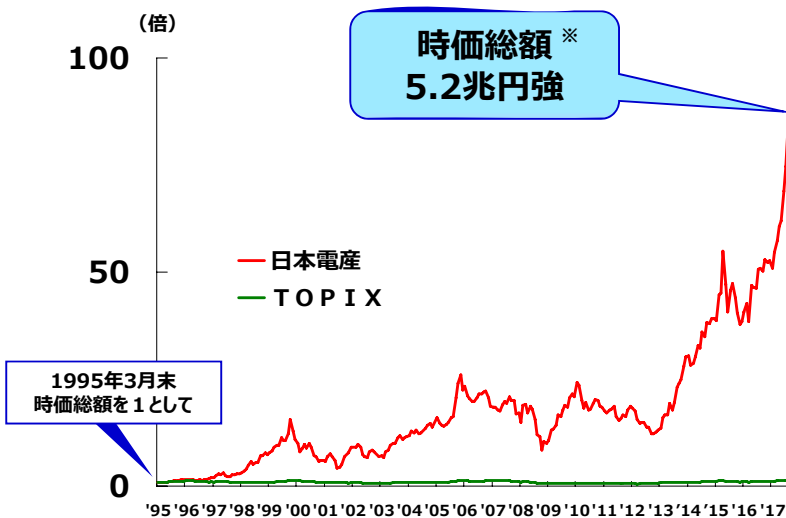


63倍

営業利益額
でも大幅な
成長を遂げる

3

株式時価総額の推移



87倍

過去20年強
で時価総額は
大幅な成長
を遂げる

※2018年1月31日付けの時価総額です。

4

技術革新の 大波が到来

5

■ 事業環境：モータは産業のコメになる

クルマ・ロボティクス・省エネ家電・ドローン用途等、創業以来の大波が続々と到来

電動自動車



内燃機関から電気へ。
100年に1度の技術革新

脱炭素化の波

ロボット



協働型ロボットが食品・物流・
サービス分野へ。市場急拡大

ロボット化の波

省エネ家電



コードレス化や高機能化。
家電製品の技術革新

省電力化の波

ドローン



人手不足の深刻化。
第4次産業革命が追い風

物流革命の波

6

■ グループPSAとの合併会社設立を発表

PSAは全モデルの8割の電動化を計画、合併会社のEV駆動モータを搭載予定！

Nidec
All for dreams
日本電産ルロア・ソマーホールディング社

2017年に当社グループ入り
1995年～PSAとEVで協業



PSA
GROUPE

欧州第2位、世界第9位
の自動車OEMメーカー

[グループPSAの主要5ブランド]



ボクスホール



プジョー



DS



オペル



シトロエン

■ 車載戦略：ついにEVシフトが本格化！

Nidec
は、こちらのグループ



古い部品群 (旧来型)

- ①油圧部品
- ②機械系部品 など



新しい部品群 (技術革新)

- ①モータ・アクチュエータ
- ②電子制御ユニット
- ③センサ(カメラ、レーダー)
- ④バッテリー
- ⑤素材系 など

環境 主要各国が相次いでガソリン車・ディーゼル車の販売禁止を発表！

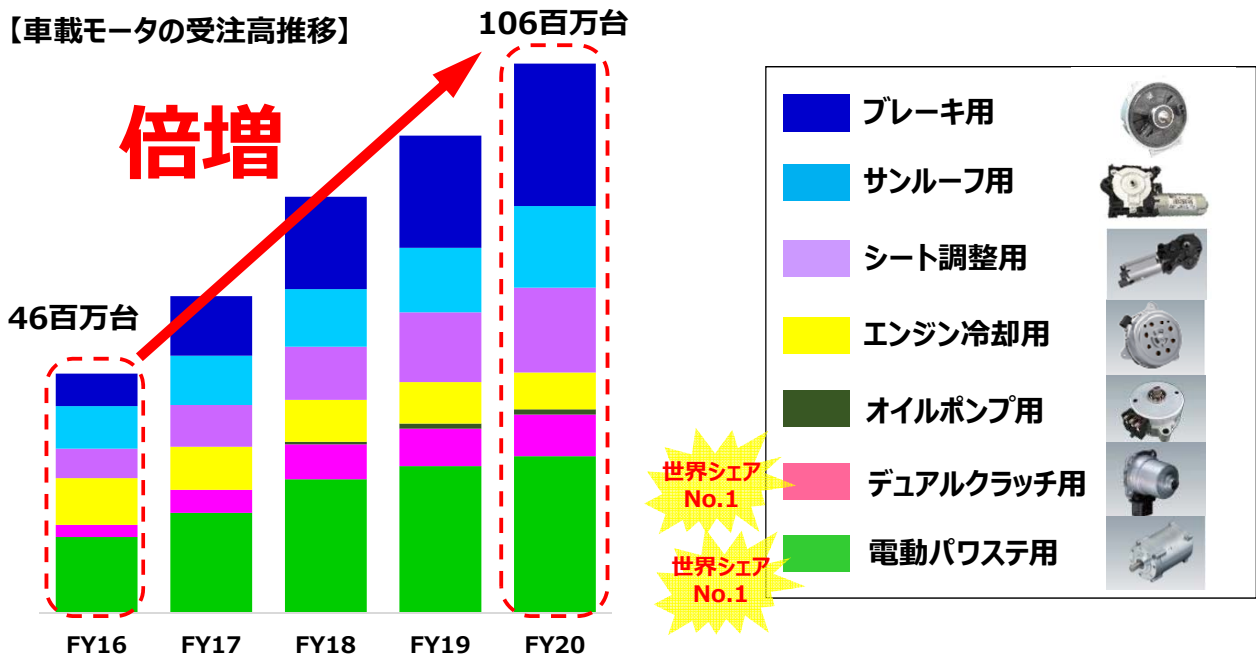
フランス	～2040年迄に	中国	自動車メーカーに対し2019年に10%の新エネルギー車 (NEV) の製造・販売を義務付ける規則を導入する、と発表。
イギリス	～2040年迄に		
インド	～2030年迄に		

安全・安心

快適・利便

■ 車載事業は千客万来！ 受注は倍増！

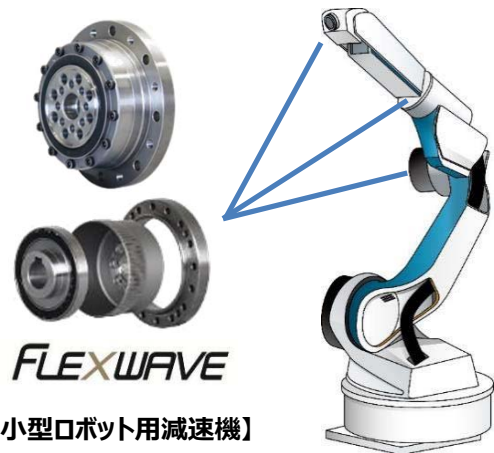
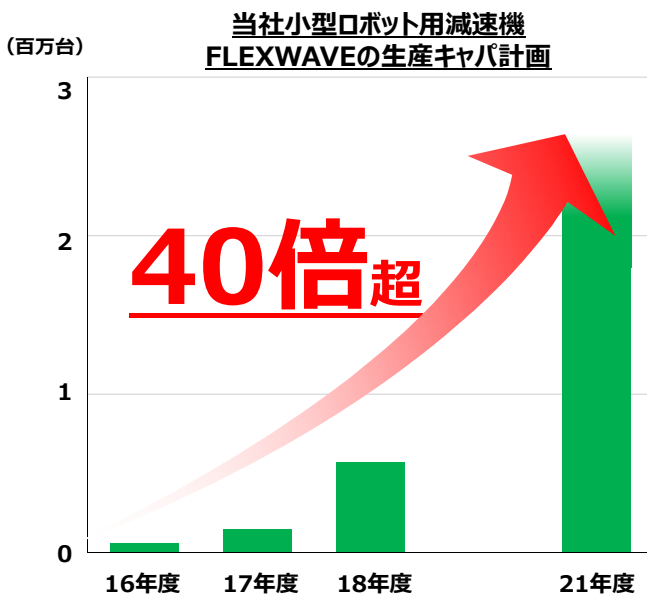
【車載モータの受注高推移】



9

■ FA・ロボティクス戦略：小型ロボット用減速機

指数関数的に拡大する旺盛な需要に対応し生産能力を大幅増強！



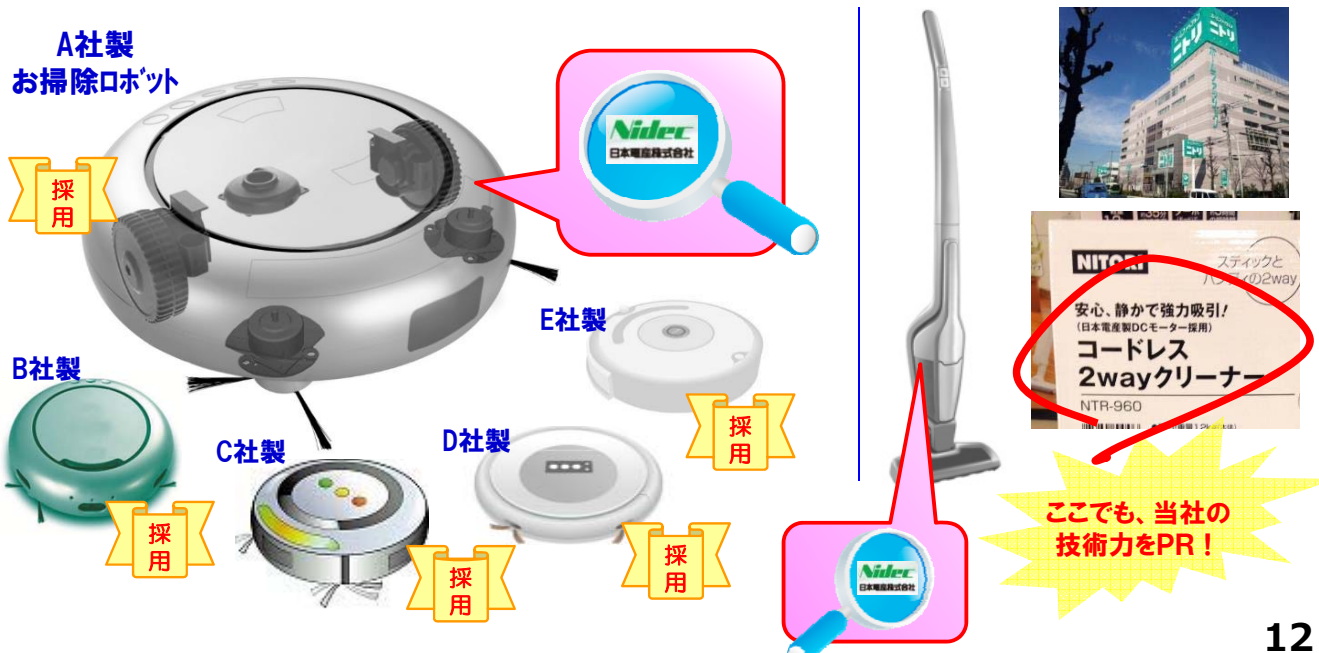
10

■デジタル家電は大量のモータを使用！



11

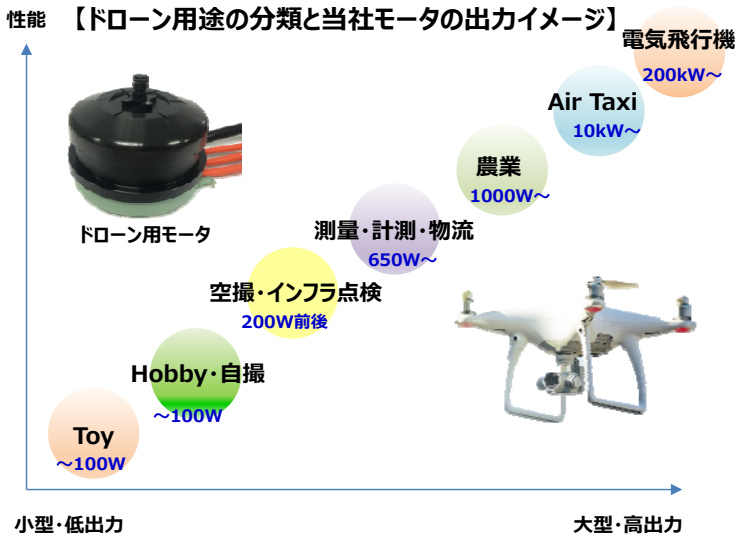
■コードレス化で当社モータが目白押し！



12

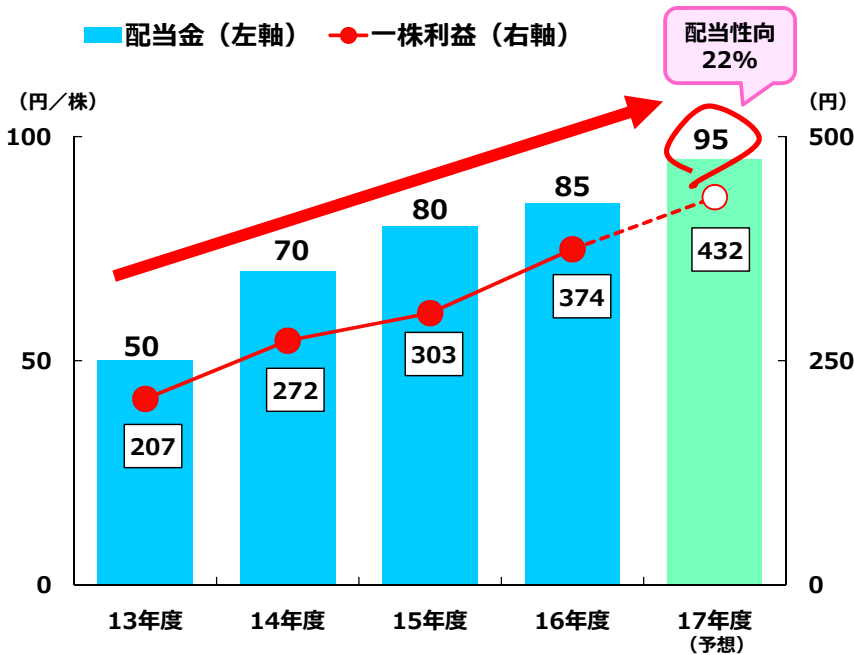
■ ドローン用モータの開発

幅広い市場・用途を対象に研究開発に着手・進行中



当社CMの一場面

■ 配当金の推移



増配を
継続中

配当性向は
中期的に
30%を視野



お問い合わせ先
日本電産株式会社 CFO戦略部
IR室
Tel : 075-935-6140
E-mail : ir@nidec.com

■ 創業経営者について



代表取締役会長兼社長 (CEO)
永守 重信 (ながもりしげのぶ)

＜経歴＞

昭和19年8月 京都に生まれる。
昭和42年3月 職業訓練大学校（現・職業能力開発総合大学校）電気科卒業。
昭和48年7月 28歳で日本電産(株)を設立、代表取締役社長に就任。
現在、当社会長のほか、日本電産サンキョー(株)、日本電産エレシス(株)、日本電産シンボ(株)、日本電産リード(株)の取締役会長も兼務。

＜主な著書＞

- ・「情熱・熱意・執念の経営」(PHP研究所)
- ・「『人を動かす人』になれ」(三笠書房)
- ・「奇跡の人材育成法」(PHP研究所) 他



■ 連結決算業績



(百万円)	16年度 第3四半期(累計)	17年度 第3四半期(累計)	前年比	17年度 通期見込
売上高	868,228	1,105,921	+27.4%	1,450,000
営業利益	106,173	127,127	+19.7%	170,000
営業利益率	12.2%	11.5%	-	11.7%
税引前利益	107,747	119,723	+11.1%	163,000
当期利益	81,617	94,763	+16.1%	128,000
一株利益(円)	275.18	320.06	+16.3%	432.32
対米ドル為替レート				
平均...	106.63円	111.70円	+4.8%	105.00円
期末...	116.49円	113.00円	-3.0%	(4Q想定レート)

為替感応度：1円あたり米ドルは売上高88億円、営業利益11億円、ユーロは売上高17億円、営業利益4億円（全てFY17通期ベース）

17

■ Vision2020：中期戦略目標

利益ある高成長の飽くなき追求

- ① 連結売上高目標 2兆円
(新規M&A 約5,000億円を含む)
- ② 内、車載売上高目標 7千億円～1兆円
- ③ 連結営業利益率目標 15%以上
- ④ ROE（株主資本利益率）18%以上
(株主資本比率60%を前提目標)
- ⑤ グローバル5極経営管理体制の確立

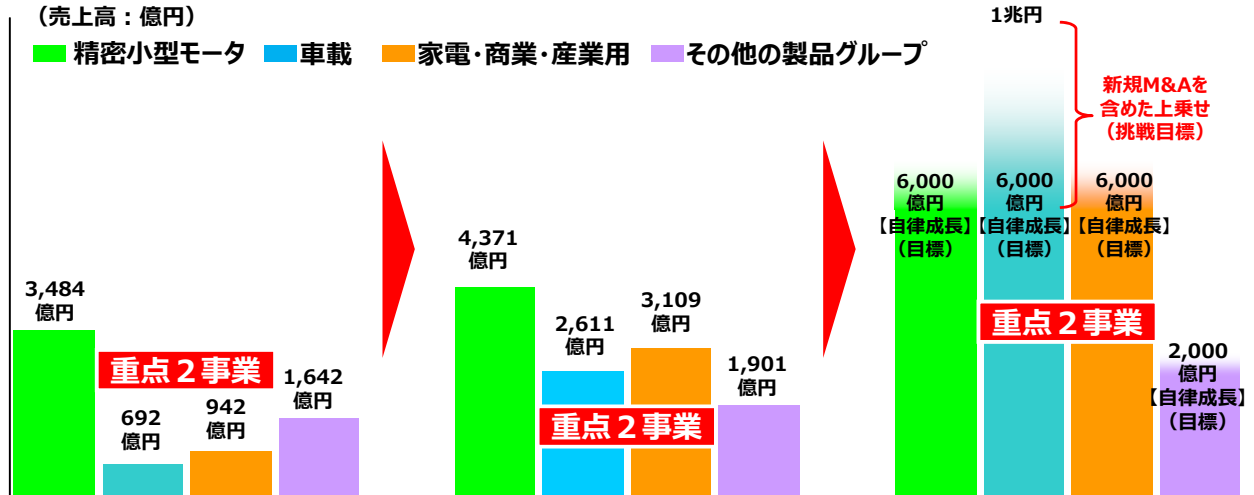
18

■「6千億円×3本の柱」が軸となる新たな2兆円企業集団へと脱皮

2010年度
売上高：6,760億円

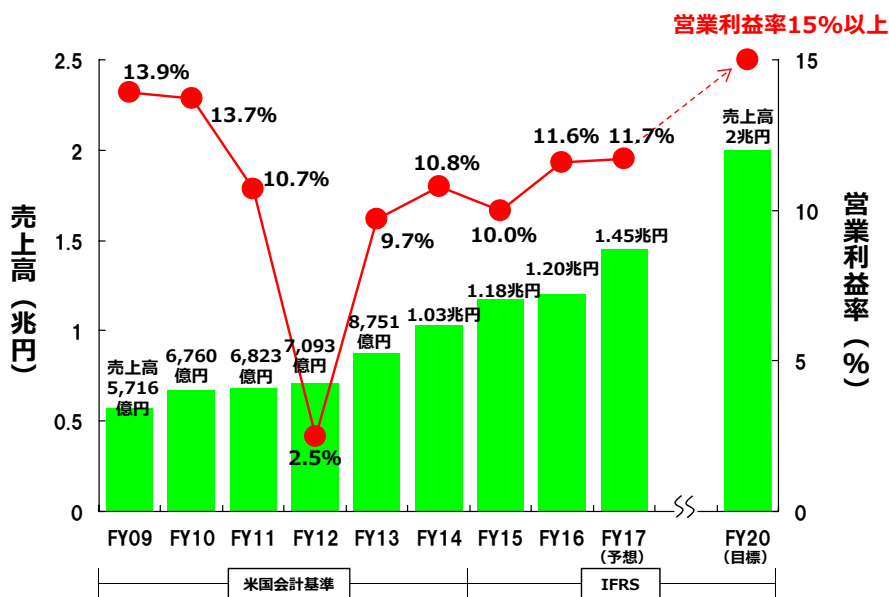
2016年度
売上高：1兆1,993億円

2020年度
売上高：2兆円（目標）



19

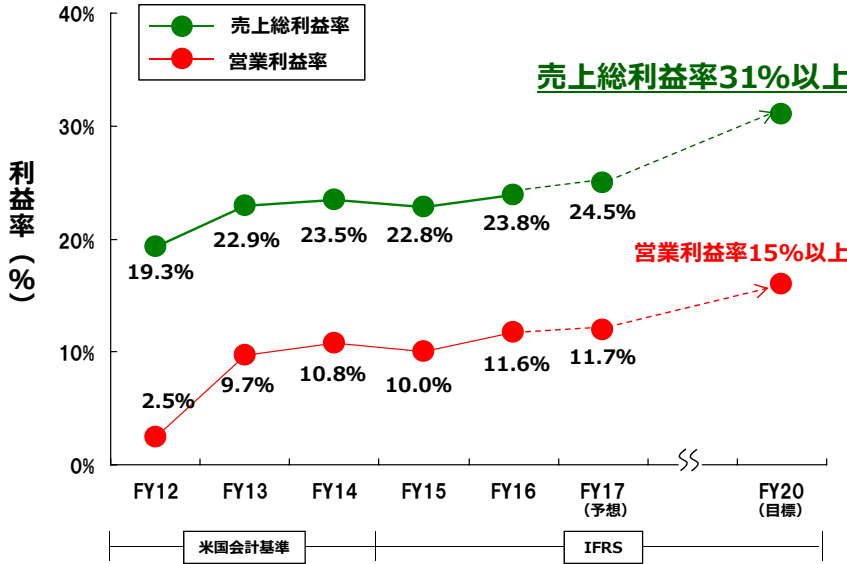
■ Vision2020：営業利益率15%以上の実現に向けて①



トップライン成長
の確度が増し、
今後は収益構造
の抜本改革に
着手

20

■ Vision2020：営業利益率15%以上の実現に向けて②



売上総利益率
の大幅改善を
目指す

<主な対策>

1. 材外費の低減
2. 直接労務費の低減